

那須の歴史
再発見!

那須町と 近現代の人々

vol.27



萩昌吉 (1854-1905)

3月号は、黒田原の礎を築いた萩昌吉を紹介します。

昌吉は、安政元年に熊本藩士萩昌国の子として生まれました。ちなみに昌吉の孫は映画評論家の萩昌弘です。昌吉は、明治7年から宮内省に出仕したとされ、同13年から侍従、同21年から狩猟官として仕えました。昌吉と那須の関係は、明治14年の巡幸の際に芦野を訪れたことから始まります。昌吉は、同16年頃に伊王野の山林の払下げを企てますが失敗し、同22年に横岡・寄居の官有林(通称東山)の貸下げを元田永孚・米田虎雄らと行い、開墾・牧畜を計画しました。それが後に大きな火種となります。

明治20年に現在の東北本線(黒磯―郡山間)が開通すると、材木輸送等の利便を考え、昌吉は芦野町民らと黒田原への駅誘致を行い、同24年に黒田原駅が

開業しました。その後昌吉は宮内省を退職し、同27年に木山田謙三・大塩清嘯らと黒田原温泉株式会社を設立し、大丸・旭温泉から黒田原まで木管で温泉を通しました(現在の普門院に萩の別荘、その脇に温泉場があったという)。付近には若松屋・松野屋などの旅館が立ち並びました。昌吉は、これを契機とし、同29年に東宮(後の大正天皇)の御用邸設置を企てます。9万坪の敷地に御用邸・馬場などを置き、余笹川を庭で囲む計画が当時の新聞で報道されました。

しかしこの頃、貸下げを受けていた横岡・寄居の官有林で問題が起きます。貸下げ後、昌吉が官有地の無許可売買、貸下げ地以外での立木伐採を行うなど違反行為をしていたことが発覚し、芦野町民ら約50名は抗議するため、東京・農商務省などに押し掛け、貸下げ後の払下げ中止を求めました。

この問題後、昌吉は表舞台から姿を消し、黒田原温泉もその後廃業しました。しかし昌吉は駅の誘致や黒田原の開発を行うなど、現在の黒田原の在り方を規定したともいえ、山田家や藤

田家とともに黒田原の歴史の中で語られてほしいと思います。(肖像画は、皇居三の丸尚蔵館収蔵)
▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007



旧黒田原駅舎 (現在はありません)

かつこう

那須タウンカレッジ修了証書授与式が行われた。令和元年の制度開始以降、受講120回を達成したのは3人目。「仕事をしていた頃はできなかったが、退職した今は好きなことができる。教室、講座の情報参考に、新たな学びを取り入れたい」と学びへの意欲を語った▼生涯学習とは、人々が生涯に行うあらゆる学習のことを指

す。学校教育はもちろんスポーツ、レクリエーション活動、趣味などさまざまな場面での学習を対象としている▼「学びたい」という気持ちはあるものの、その時間を確保できない人は多いのではないだろうか。そういう私も仕事で忙しい、子育てが大変、ゆっくりする時間がほしいなど何かしら理由をつけては先延ばしにしている一人だ▼学習意欲を高めるには、興味関心のあるものを楽しみながら学び、さらに達成感や、おもしろさ

を知ることが大切といわれている。好きな事なら続けやすく、深く知ることができるよう▼生涯学習の場の一つとして公民館が主催する講座がある。目標を持って学ぶことの楽しさを知ってもらうことを目的としていて、昨年度は66講座を開催し、延べ2,700人が参加した。日々の楽しみや生きがいを感じるため、仲間とのつながりを持つため、視野や考え方を広げるためなど生涯学習を始める一助になるのではと考える。

こんにちは 赤ちゃん



令和4年11月生まれ

ひらやま いちと
平山 依千翔くん

いちとくんは…
絵本とお外遊びが大好きです!

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎72-6935)まで。

町の世帯と人口

(2月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

・世帯数	10,690 世帯 (-30)	出生	4人 (-4)
・人口	23,933 人 (-78)	死亡	50人 (+17)
	男 11,932 人 (-35)	転入	50人 (-30)
	女 12,001 人 (-43)	転出	81人 (+20)
		その他	1人減

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます



マチイロ

